

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	社会体育学校開放施設整備事業	会計	一般会計	事業No.	734	施策順No.	26-008
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-6-3-11-2		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	26 スポーツの振興			事業期間	開始	S36	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	学校開放体育施設						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		学校開放施設(体育館・校庭・武道場)の数:(施設)	55	55	55	55	55	
	意図	安全で快適に利用できる施設の提供						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	学校開放体育施設における不具合発生件数:(件)	113	110	100	95	95	90	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	体育館、校庭の学校開放に関する照明設備等の修繕を行うことができた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	学校のスポーツ施設を一般のスポーツの利用のために市民に開放し、スポーツの振興を図る。そのための整備を行い、施設の充実を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 高陵中学校夜間照明改修工事(495千円) 2 学校開放施設修繕(照明等修理) 施設備品購入	改修、修繕及び新たな備品購入した学校体育施設(校庭、体育館)数	20
23年度実施計画	1 三穂小学校体育館照明設備改修工事(4,500千円) 2 竜丘小学校屋内運動場照明設備改修工事(2,200千円) 3 学校開放施設修繕(照明等修理) 施設備品購入	改修、修繕及び新たな備品購入した学校体育施設(校庭、体育館)数	20

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		2,831	2,075	7,593	
		計(A)		2,831	2,075	7,593	
		正規職員所要時間					
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)			0		
		トータルコスト A+B			2,075		

4 事業に対する市民や議会の意見

市民・学校・施設利用者から施設の補修など軽微なものから照明の交換や支柱木の剪定など様々な要望がある。スポーツ用備品類の傷みがひどいため更新してほしい。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ ②競技力が向上する	施策の成果指標又はムトス指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:(%)
				0.552
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	身近に誰でもどこでも気軽にスポーツに親しめるよう、学校体育館・グラウンドの夜間照明の整備をしてきた。学校グラウンドの夜間照明については、浜井場小、川路小、山本小、和田小、遠山中の改修を残すのみ。		
	後期に向けた課題	今後も学校開放を積極的に進めるためにも、学校体育施設の照明を整備していきたい。地域の要望を聴く中で、改修箇所を検討したい。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	各地区の公民館から、毎年要望をあげてもらっている。		
	後期に向けた課題	補助金等の有効活用が必要とされる。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	社会教育関係団体の使用がほとんどであり、使用料の納付は少ない。		
	後期に向けた課題	使用料、減免基準の見直し。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題	施設によっては老朽化している箇所もあり、今後とも改修計画を策定する必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------